



学習指導要領改訂 中教審への諮問 ①

質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方

- 生成 AI が発展する状況の下、知識の概念としての習得や深い意味理解を促し、学ぶ意味や社会とのつながりが重要となる中、そうした授業改善に直結する学習指導要領とするための方策（特に、各教科等の中核的な概念等を中心に、目標・内容を一層構造化）
- 目標・内容の記載に表形式等を活用すること、学校種間・教科等間の関係を俯瞰しやすくすることのほか、デジタル技術を活用した工夫の在り方
- 重要な理念の関係性の整理（「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」、「学習の基盤となる資質・能力」等）
- デジタル学習基盤の活用を前提とした、資質・能力をよりよく育成するための各教科等の示し方
- 学習改善・授業改善に効果的な評価の観点や頻度、形成的・総括的評価の在り方（特に、「主体的に学習に取り組む態度」をはじめ観点別学習状況の把握をより豊かな評価につなげるための改善）



自由な心

実業家 渋沢栄一

人はその心を自由に持たねばならぬ。心を寛（ひろ）くして物に屈託（くつたく）せず、事に当たりて適當の智能を発揮するは、心に余裕がなければ出来ぬ事である。

出典：「渋沢栄一 一日一言 人間力を高める言葉」（致知出版社）

※ 職場にも余裕が必要であると考えます。